

大館北秋田地域林業成長産業化協議会
再造林推進部会（作業システム検討会） 次第

日 時：令和2年10月15日（木）10：00～12：00

会 場：大館市岩瀬字繫沢 市有林（現地）／五色湖ロッジ

1 開 会

2 協議案件

（1）概要説明

（2）現地視察

（3）作業システム発表

（4）意見交換

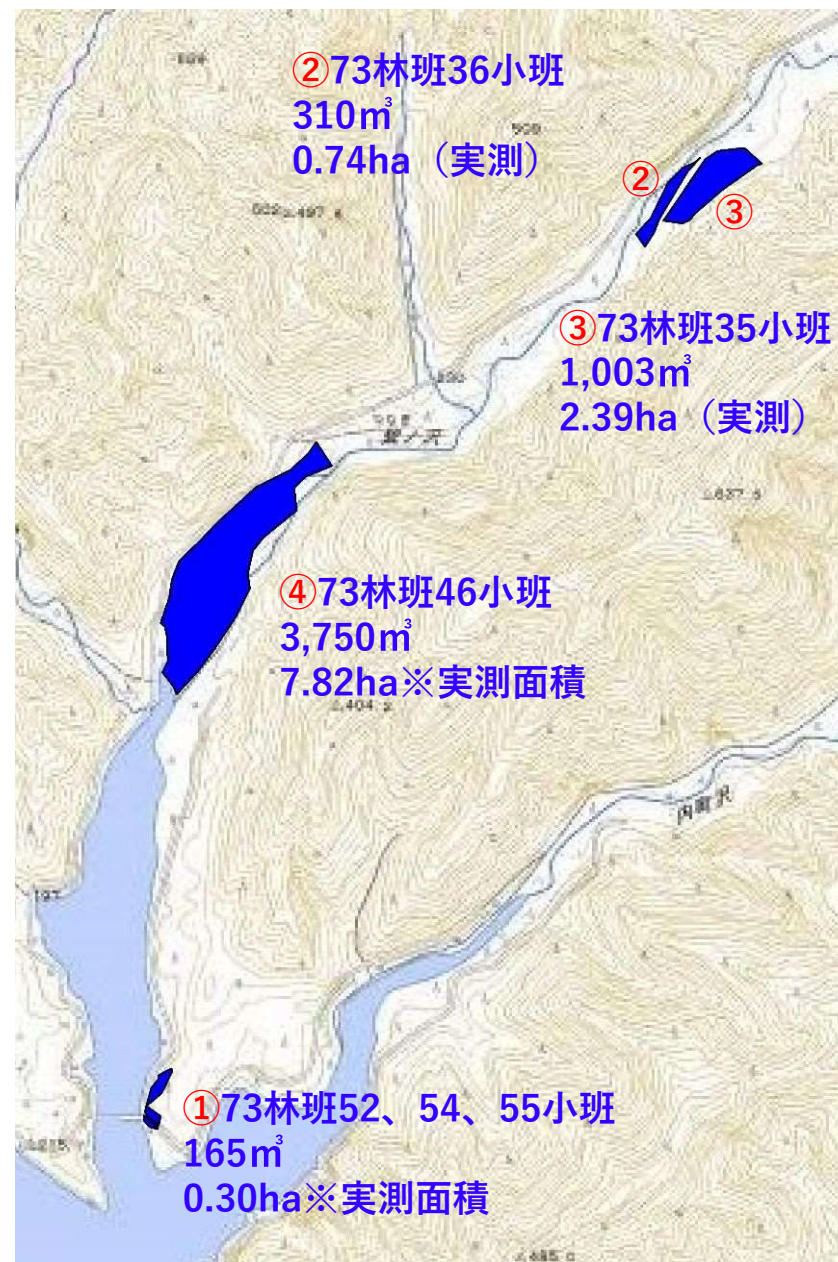
3 講評・その他

○オブザーバー

○アドバイザー

4 閉 会

再造林推進部会 (R2.10.15)



作業システム検討整理まとめ【伐採】（10/15再造林推進部会）

No.	所属	素材生産量 (m3)	造材歩留	作業班数 (班)	作業員数 (人)	集材方式	全体 (m3/人日)	作業道作設 (m3/人日)	伐倒 (m3/人日)	木寄せ (m3/人日)	造材 (m3/人日)	搬出 (m3/人日)	全体 (人日)	作業道作設 (人日)	伐倒 (人日)	木寄せ (人日)	造材 (人日)	搬出 (人日)
昨年度実績	R1	3,730	0.75	1	8	短幹	33.9	0.0	190.2	697.3	91.0	116.2	110.0	0.0	22.0	6.0	46.0	36.0
1	A	4,184	0.80	1	4	全木	31.0	0.0	113.1	836.8	91.0	89.0	135.0	0.0	37.0	5.0	46.0	47.0
2	B	2,615	0.50	1	7	短幹	5.3	0.0	23.8	32.7	18.7	16.3	490.0	0.0	110.0	80.0	140.0	160.0
3	C	4,184	0.80	1	4	短幹	13.9	0.0	38.0	104.6	99.6	39.8	300.0	3.0	110.0	40.0	42.0	105.0
4	D	3,923	0.75	1	6	全木	15.7	0.0	49.0	392.3	56.0	43.6	250.0	0.0	80.0	10.0	70.0	90.0
5	E	3,923	0.75	1	3	全木	13.1	0.0	30.2	98.1	65.4	56.0	300.0	0.0	130.0	40.0	60.0	70.0

作業システム検討整理まとめ【造林】（10/15再造林推進部会）

今回実施検討														
No.	所属	作業班 (班)	作業員数 (人)	労働生産性_面積	労働生産性_本数	投入作業量	地拵え方法	植栽密度 (本/ha)	植栽総本数 (本)	コンテナ苗		普通苗		保護対策
										サイズ	植付時期	サイズ	植付時期	
昨年度実績	R1	1	8	0.06	127	146.0	地拵え	2,300	18,515	普通苗	11月以降			無し
1	A	1	4	0.08	185	140.0	地拵え	2,300	25,875	普通苗	記載なし			無し
2	B	1	7	0.38	600	30.0	地拵え	1,600	18,000	普通苗	6月以降			無し
3	C	1	5	0.17	398	65.0	省力地拵え	2,300	25,875	大苗	5月以降			無し
4	D	1	8	0.07	162	160.0	地拵え	2,300	25,875	大苗	5月以降			無し
5	E	1	10	0.35	703	32.0	地拵え	2,000	22,500			普通苗	記載なし	無し

今後想定する保育作業							
No.	所属	下刈		除伐		保育間伐	
		実施回数	実施年数	実施回数	実施年数	実施回数	実施年数
昨年度実績	R1	5	2~6年生	2	12、18年生	1	25年生
1	A	4	2~5年生	1	14年生	-	-
2	B	2	2~3年生	1	8年生	1	25年生
3	C	3	状況を見て隔年実施	1	8年生	1	25年生
4	D	2	2~6年生	1	8年生	1	25年生
5	E	3	2、3、5年生	1	15年生	1	25年生

事業者名	A
------	---

作業システム検討整理表【伐採】（演習用）

作業種	皆伐	面積(ha)	11.25	総材積(m³)	5,230	1本材積(m³/本)	1.37	
所在	大館市岩瀬繁沢	傾斜	緩	平均径級(cm)	39	造材歩留	0.80	←記入
林班	73	樹種	スギ	平均樹高(m)	24	作業期間	5ヶ月	←この期間内
小班	35,36,46,52,54,55	林齢	51~53	ha蓄積(ha/m³)	465	作業班(班)	1	←記入
	搬出系統図	別添図面のとおり		作業道作設(m)	0	作業員(人)	4	←別添作成・記入
	集材方式	全木	○	全幹		短幹	○	←○・ー記入
	枝条処理	造林地全体に筋状に集積						←記入
素材生産量	その他工夫	平坦地であることから伐倒をフェラーバンチャ主体で実施し工程短縮を図る 皆伐前に林内の灌木、草類を刈払い(地拵え)						←記入
4,184 m³								
労働生産性	作業道作設	伐倒	木寄せ	造材	搬出			
31.0 m³/人日	- m³/人日	113.1 m³/人日	836.8 m³/人日	91.0 m³/人日	89.0 m³/人日			
投入作業量	作業道作設	伐倒	木寄せ	造材	搬出			
135.0 人日	0.0 人日	37.0 人日	5.0 人日	46.0 人日	47.0 人日			
作業員 A		フェラーバンチャ 23.0	フェラーバンチャ 5.0					
28.0 人日								
作業員 B				ハーベスタ 46.0				
46.0 人日								
作業員 C					グラブブル 16.0 フォワーダ 15.0			
31.0 人日								
作業員 D		チェーンソー 14.0			グラブブル 8.0 フォワーダ 8.0			
30.0 人日								
作業員 E								
0.0 人日								
作業員 F								
0.0 人日								
作業員 G								
0.0 人日								
作業員 H								
0.0 人日								

作業員ごとに、使用機械名、投入作業量(人日)を記入

事業者名	B
------	---

作業システム検討整理表【伐採】（演習用）

作業種	皆伐	面積(ha)	11.25	総材積(m³)	5,230	1本材積(m³/本)	1.37	
所在	大館市岩瀬繁沢	傾斜	緩	平均径級(cm)	39	造材歩留	0.50	←記入
林班	73	樹種	スギ	平均樹高(m)	24	作業期間	5ヶ月	←この期間内
小班	35,36,46,52,54,55	林齢	51~53	ha蓄積(ha/m³)	465	作業班(班)	1	←記入
	搬出系統図	別添図面のとおり		作業道作設(m)		作業員(人)	8	←別添作成・記入
	集材方式	全木	—	全幹	—	短幹	○	←○・—記入
	枝条処理	搬出路に敷き、残りは集積する。						←記入
素材生産量	その他工夫 平坦地はフェラーバンチャ、ハーベスタで伐倒する。							←記入
2,615 m³								
労働生産性	作業道作設	伐倒	木寄せ	造材	搬出			
5.3 m³/人日	- m³/人日	23.8 m³/人日	32.7 m³/人日	18.7 m³/人日	16.3 m³/人日			
投入作業量	作業道作設	伐倒	木寄せ	造材	搬出			
490.0 人日	0.0 人日	110.0 人日	80.0 人日	140.0 人日	160.0 人日			
作業員 A		フェラーバンチャ 20.0	フェラーバンチャ 10.0					
30.0 人日								
作業員 B		チェーンソー 40.0			フォワーダ 50.0			
90.0 人日								
作業員 C			フェラーバンチャ 50.0					
50.0 人日								
作業員 D		チェーンソー 30.0			フォワーダ 50.0			
80.0 人日								
作業員 E				プロセッサ 80.0				
80.0 人日								
作業員 F		ハーベスタ 20.0		ハーベスタ 60.0				
80.0 人日								
作業員 G			フェラーバンチャ 20.0		グラブブル 60.0			
80.0 人日								
作業員 H								
0.0 人日								

作業員ごとに、使用機械名、投入作業量(人日)を記入

事業者名	C
------	---

作業システム検討整理表【伐採】（演習用）

作業種	皆伐	面積(ha)	11.25	総材積(m³)	5,230	1本材積(m³/本)	1.37	
所在	大館市岩瀬繁沢	傾斜	緩	平均径級(cm)	39	造材歩留	0.80	←記入
林班	73	樹種	スギ	平均樹高(m)	24	作業期間	5ヶ月	←この期間内
小班	35,36,46,52,54,55	林齢	51~53	ha蓄積(ha/m³)	465	作業班(班)	1	←記入
	搬出系統図	別添図面のとおり		作業道作設(m)	120	作業員(人)	4	←別添作成・記入
	集材方式	全木		全幹		短幹	○	←○・ー記入
	枝条処理	搬出路の路盤補強に使用し、残りは極力植付に不向きな箇所を集積する						←記入
素材生産量	その他工夫							←記入
4,184 m³	径級の小さいものはフェラーパンチャで伐倒する							
労働生産性	作業道作設	伐倒	木寄せ	造材	搬出			
13.9 m³/人日	- m³/人日	38.0 m³/人日	104.6 m³/人日	99.6 m³/人日	39.8 m³/人日			
投入作業量	作業道作設	伐倒	木寄せ	造材	搬出			
300.0 人日	3.0 人日	110.0 人日	40.0 人日	42.0 人日	105.0 人日			
作業員 A	フェラーパンチャ 3.0	フェラーパンチャ 30.0		ハーベスタ 42.0				
75.0 人日								
作業員 B			グラップル 40.0		グラップル 35.0			
75.0 人日								
作業員 C		チェーンソー 40.0			フォワーダ 35.0			
75.0 人日								
作業員 D		チェーンソー 40.0			フォワーダ 35.0			
75.0 人日								
作業員 E								
0.0 人日								
作業員 F								
0.0 人日								
作業員 G								
0.0 人日								
作業員 H								
0.0 人日								

作業員ごとに、使用機械名、投入作業量(人日)を記入

事業者名	D
------	---

作業システム検討整理表【伐採】（演習用）

作業種	皆伐	面積 (ha)	11.25	総材積 (m ³)	5,230	1本材積 (m ³ /本)	1.37	
所在	大館市岩瀬繁沢	傾斜	緩	平均径級 (cm)	39	造材歩留	0.75	←記入
林班	73	樹種	スギ	平均樹高 (m)	24	作業期間	5ヶ月	←この期間内
小班	35,36,46,52,54,55	林齢	51~53	ha蓄積 (ha/m ³)	465	作業班(班)	1	←記入
	搬出系統図	別添図面のとおり		作業道作設 (m)		作業員 (人)	6	←別添作成・記入
	集材方式	全木	○	全幹		短幹		←○・ー記入
	枝条処理	林地全体に植え付けを考慮し筋状に集積						←記入
素材生産量	3,923 m ³							←記入
	その他工夫	フェラーバンチャ2台配置により伐倒の進行を早め作業期間中盤よりプロセッサ1台追加し期間短縮を図る						←記入

労働生産性	作業道作設	伐倒	木寄せ	造材	搬出
15.7 m ³ /人日	- m ³ /人日	49.0 m ³ /人日	392.3 m ³ /人日	56.0 m ³ /人日	43.6 m ³ /人日

投入作業量	作業道作設	伐倒	木寄せ	造材	搬出
250.0 人日	0.0 人日	80.0 人日	10.0 人日	70.0 人日	90.0 人日

作業者 A		フェラーバンチャ 30.0	フェラーバンチャ 5.0		
35.0 人日					
作業者 B		フェラーバンチャ 30.0	フェラーバンチャ 5.0		フォワーダ 15.0 グラブプル 15.0
65.0 人日					
作業者 C		チェーンソー 20.0			
20.0 人日					
作業者 D				プロセッサ 35.0	フォワーダ 15.0 グラブプル 15.0
65.0 人日					
作業者 E					フォワーダ 15.0 グラブプル 15.0
30.0 人日					
作業者 F				プロセッサ 35.0	
35.0 人日					
作業者 G					
0.0 人日					
作業者 H					
0.0 人日					

作業員ごとに、使用機械名、投入作業量(人日)を記入

事業者名	E
------	---

作業システム検討整理表【伐採】（演習用）

作業種	皆伐	面積(ha)	11.25	総材積(m³)	5,230	1本材積(m³/本)	1.37	
所在	大館市岩瀬繁沢	傾斜	緩	平均径級(cm)	39	造材歩留	0.75	←記入
林班	73	樹種	スギ	平均樹高(m)	24	作業期間	5ヶ月	←この期間内
小班	35,36,46,52,54,55	林齢	51~53	ha蓄積(ha/m³)	465	作業班(班)	1	←記入
	搬出系統図	別添図面のとおり		作業道作設(m)		作業員(人)	3	←別添作成・記入
	集材方式	全木	○	全幹		短幹		←○・ー記入
	枝条処理	搬出路に敷設する。						←記入
素材生産量	その他工夫							←記入
3,923 m³								
労働生産性	作業道作設	伐倒	木寄せ	造材	搬出			
13.1 m³/人日	- m³/人日	30.2 m³/人日	98.1 m³/人日	65.4 m³/人日	56.0 m³/人日			
投入作業量	作業道作設	伐倒	木寄せ	造材	搬出			
300.0 人日	0.0 人日	130.0 人日	40.0 人日	60.0 人日	70.0 人日			
作業者 A		フェラーバンチャ 50.0	フェラーバンチャ 25.0		フォワーダ 25.0			
100.0 人日								
作業者 B		フェラーバンチャ 40.0 チェーンソー 20.0	フェラーバンチャ 15.0		フォワーダ 25.0			
100.0 人日								
作業者 C		チェーンソー 20.0		プロセッサ 60.0	フォワーダ 20.0			
100.0 人日								
作業者 D								
0.0 人日								
作業者 E								
0.0 人日								
作業者 F								
0.0 人日								
作業者 G								
0.0 人日								
作業者 H								
0.0 人日								

作業員ごとに、使用機械名、投入作業量(人日)を記入

事業者名	令和元年度実績
------	---------

作業システム検討整理表【伐採】（前年度実績）

作業種	皆伐	面積(ha)	8.05	総材積(m³)	4,973	1本材積(m³/本)	0.99	
所在	大館市岩瀬繁沢	傾斜	緩	平均径級(cm)	48	造材歩留	0.75	←記入
林班	73	樹種	スギ	平均樹高(m)	22	作業期間	1ヶ月	←この期間内
小班	10~15,18,19	林齢	56~61	ha蓄積(ha/m³)	618	作業班(班)	1	←記入
	搬出系統図	別添図面のとおりに		作業道作設(m)	0	作業員(人)	8	←別添作成・記入
	集材方式	全木		全幹		短幹	○	←○・ー記入
	枝条処理	造林地全体に筋状に集積						←記入
素材生産量	その他工夫 平坦地であることから伐倒を全てフェラーバンチャで実施し工程短縮を図る 灌木類をフェラーバンチャで除去							←記入
3,730 m³								
労働生産性	作業道作設	伐倒	木寄せ	造材	集材搬出集積			
33.9 m³/人日	- m³/人日	169.5 m³/人日	621.7 m³/人日	81.1 m³/人日	103.6 m³/人日			
投入作業量	作業道作設	伐倒	木寄せ	造材	集材搬出集積			
110.0 人日	0.0 人日	22.0 人日	6.0 人日	46.0 人日	36.0 人日			
作業員 A		フェラーバンチャ 11.0						
11.0 人日								
作業員 B		フェラーバンチャ 11.0						
11.0 人日								
作業員 C			フェラーバンチャ 3.0					
3.0 人日								
作業員 D			フェラーバンチャ 3.0					
3.0 人日								
作業員 E				ハーベスタ 23.0				
23.0 人日								
作業員 F				ハーベスタ 23.0				
23.0 人日								
作業員 G					フォワーダ 9.0 グラップル 9.0			
18.0 人日								
作業員 H					フォワーダ 9.0 グラップル 9.0			
18.0 人日								

作業員ごとに、使用機械名、投入作業量(人日)を記入

事業者名	A
------	---

作業システム検討整理表 【造林】（演習用）

作業種	植栽							
所在	大館市岩瀬繁沢	面積 (ha)	11.25	作業時期	5月～	作業期間	5ヶ月	←この期間内
林班	73	傾斜	緩	病虫獣害	無	作業班(班)	1	←記入
小班	35,36,46,52,54,55	前樹種	スギ	植栽樹種	スギ	作業員(人)	4	←記入

今回実施検討	枝条処理	造林地全体に筋状に集積						←自動転記
	地拵え方法	地拵え	○	省力地拵え		無地拵え	←○・ー記入	
	植栽密度		本/ha				←記入	
	植栽総本数	25,875	本					
	苗木種類	コンテナ苗	○	サイズ	普通	※●月以降		記入
		普通苗		サイズ		※●月作業分のみ		←○・ー記入 普通・大苗記入
	保護対策	無し						
	その他工夫	搬出が終了した区域から並行して地拵え、地拵え終了区域から並行して植栽し、作業時間の短縮をはかった。						←適宜記入
		労働生産性_面積	労働生産性_本数		投入作業量			
		0.08 ha/人日	185 本/人日		140.0 人日		←記入	

今後想定する保育作業	下刈り	実施回数	4回	※ 2～5年生時に実施	←記入
		方法・工夫	状況により省略、隔年実施		
	除伐	実施回数	1回	※ 14年生時に実施	←記入
	保育間伐	実施回数	回	※ ●年生時に実施	←記入
	その他				←適宜記入

※ 今後想定する保育は、1回目の保育間伐までに実施するものについて記載

事業者名	B
------	---

作業システム検討整理表 【造林】（演習用）

作業種	植栽							
所在	大館市岩瀬繁沢	面積 (ha)	11.25	作業時期	5月～	作業期間	5ヶ月	←この期間内
林班	73	傾斜	緩	病虫獣害	無	作業班(班)	1	←記入
小班	35,36,46,52,54,55	前樹種	スギ	植栽樹種	スギ	作業員(人)	7	←記入

今回実施検討	枝条処理	搬出路に敷き、残りは集積する。						←自動転記		
	地拵え方法	地拵え	○	省力地拵え		無地拵え		←○・ー記入		
	植栽密度	1,600	本/ha					←記入		
	植栽総本数	18,000	本							
	苗木種類	コンテナ苗	○	サイズ	普通	※●6月以降		記入		
		普通苗		サイズ		※●月作業分のみ		←○・ー記入 普通・大苗記入		
	保護対策	無し								
	その他工夫	搬出等が終わった区域から、安全に配慮し、地拵・植付を実施する。フェラーバンチャにより灌木等を除去し、人力刈払いは笹が濃い箇所を実施する。						←適宜記入		
		労働生産性_面積	0.38 ha/人日		労働生産性_本数	600 本/人日		投入作業量	30.0 人日	←記入

今後想定する保育作業	下刈り	実施回数	2回	※2・3年生時に実施	←記入
		方法・工夫	全刈り、植栽地状況を見て隔年実施も検討する。		
	除伐	実施回数	1回	※8年生時に実施	←記入
	保育間伐	実施回数	1回	※25年生時に実施	←記入
	その他				←適宜記入

※ 今後想定する保育は、1回目の保育間伐までに実施するものについて記載

事業者名	C
------	---

作業システム検討整理表 【造林】（演習用）

作業種	植栽							
所在	大館市岩瀬繁沢	面積 (ha)	11.25	作業時期	5月～	作業期間	5ヶ月	←この期間内
林班	73	傾斜	緩	病虫獣害	無	作業班(班)	1	←記入
小班	35,36,46,52,54,55	前樹種	スギ	植栽樹種	スギ	作業員(人)	5	←記入

今回実施検討	枝条処理	搬出路の路盤補強に使用し、残りは極力植付に不向きな箇所を集積する						←自動転記			
	地拵え方法	地拵え		省力地拵え	○	無地拵え		←○・ー記入			
	植栽密度	2,300	本/ha					←記入			
	植栽総本数	25,875	本								
	苗木種類	コンテナ苗	○	サイズ	大苗	※5月以降		記入			
		普通苗		サイズ		※●月作業分のみ		←○・ー記入 普通・大苗記入			
	保護対策	無し									
	その他工夫	搬出が終了した伐区から地拵え・植付を実施する。 苗木はフォワーダ又は小さいキャリアで運搬する。 地拵えは極力重機で行う。						←適宜記入			
		労働生産性_面積	0.17	ha/人日	労働生産性_本数	398	本/人日	投入作業量	65.0	人日	←記入

今後想定する保育作業	下刈り	実施回数	3回	※ 状況見て隔年実施	←記入
		方法・工夫			←記入
	除伐	実施回数	1回	※ 8年生時に実施	←記入
	保育間伐	実施回数	1回	※ 25年生時に実施	←記入
	その他				←適宜記入

※ 今後想定する保育は、1回目の保育間伐までに実施するものについて記載

事業者名	D
------	---

作業システム検討整理表 【造林】 (演習用)

作業種	植栽							
所在	大館市岩瀬繁沢	面積(ha)	11.25	作業時期	5月～	作業期間	5ヶ月	←この期間内
林班	73	傾斜	緩	病虫獣害	無	作業班(班)	1	←記入
小班	35,36,46,52,54,55	前樹種	スギ	植栽樹種	スギ	作業員(人)	8	←記入

今回実施検討	枝条処理	林地全体に植え付けを考慮し筋状に集積						←自動転記
	地拵え方法	地拵え	○	省力地拵え		無地拵え		←○・ー記入
	植栽密度	2,300 本/ha						←記入
	植栽総本数	25,875 本						
	苗木種類	コンテナ苗	○	サイズ	大苗	※●5月以降		記入
		普通苗		サイズ		※●月作業分のみ		←○・ー記入 普通・大苗記入
	保護対策	特になし						
	その他工夫							←適宜記入
		労働生産性_面積	0.07 ha/人日		労働生産性_本数	162 本/人日		←記入
		投入作業量	160.0 人日					

今後想定する保育作業	下刈り	実施回数	2回	※ ●2～6年生時に実施			←記入
		方法・工夫	全刈、生育状態を判断し6年生時は筋刈又は中段刈り				←記入
	除伐	実施回数	1回	※ ●8年生時に実施			←記入
	保育間伐	実施回数	1回	※ ●25年生時に実施			←記入
	その他	除伐は生育状態により1年又は2年延期する				←適宜記入	

※ 今後想定する保育は、1回目の保育間伐までに実施するものについて記載

事業者名

E

作業システム検討整理表【造林】（演習用）

作業種	植栽							
所在	大館市岩瀬繁沢	面積 (ha)	11.25	作業時期	5月～	作業期間	5ヶ月	←この期間内
林班	73	傾斜	緩	病虫獣害	無	作業班(班)	1	←記入
小班	35,36,46,52,54,55	前樹種	スギ	植栽樹種	スギ	作業員(人)	10	←記入

今回実施検討	枝条処理	搬出路に敷設する。						←自動転記
	地拵え方法	地拵え	○	省力地拵え		無地拵え		←○・ー記入
	植栽密度	2,000	本/ha					←記入
	植栽総本数	22,500	本					
	苗木種類	コンテナ苗		サイズ		※●月以降		記入
		普通苗	○	サイズ	普通	※●月作業分のみ		←○・ー記入 普通・大苗記入
	保護対策	不要						
	その他工夫	搬出が終了した伐区から地拵・植付を実施する。 地拵えはフェラーパンチャ及びグラップルを使用し人力の刈払いは行わない。						←適宜記入
		労働生産性_面積	0.35 ha/人日		労働生産性_本数	703 本/人日		←記入
		投入作業量	32.0 人日					

今後想定する保育作業	下刈り	実施回数	3回	※ 2,3,5年生時に実施	←記入
		方法・工夫			←記入
	除伐	実施回数	1回	※ 15年生時に実施	←記入
	保育間伐	実施回数	1回	※ 25年生時に実施	←記入
	その他				←適宜記入

※ 今後想定する保育は、1回目の保育間伐までに実施するものについて記載

事業者名	令和元年度実績
------	---------

作業システム検討整理表【造林】（前年度実績）

作業種	植栽							
所在	大館市岩瀬繁沢	面積 (ha)	8.05	作業時期	11月～	作業期間	1ヶ月	←この期間内
林班	73	傾斜	緩	病虫獣害	無	作業班(班)	1	←記入
小班	10～15,18,19	前樹種	スギ	植栽樹種	スギ	作業員(人)	8	←記入

今回実施検討	枝条処理	造林地全体に筋状に集積						←自動転記		
	地拵え方法	地拵え	○	省力地拵え		無地拵え		←○・一記入		
	植栽密度	2,300 本/ha						←記入		
	植栽総本数	18,515 本								
	苗木種類	コンテナ苗	○	サイズ	普通	※11月以降		記入		
		普通苗		サイズ				←○・一記入 普通・大苗記入		
	保護対策	無し								
	その他工夫	搬出が終了した区域から並行して地拵え、地拵え終了区域から並行して植栽し、作業時間の短縮をはかった。地拵えはフェラバンチャーにより灌木類と表層の植生を除去することにより2年生での下刈りの省略を試みた。						←適宜記入		
		労働生産性_面積	0.06 ha/人日		労働生産性_本数	127 本/人日		投入作業量	146.0 人日	←記入

今後想定する保育作業	下刈り	実施回数	5回	※ 2～6年生時に実施		←記入
		方法・工夫	全刈、林内状況を見て隔年実施も考慮			
	除伐	実施回数	2回	※ 12、18年生時に実施		←記入
	保育間伐	実施回数	1回	※ 25年生時に実施		←記入
	その他					←適宜記入

※ 今後想定する保育は、1回目の保育間伐までに実施するものについて記載